

刀銘 兼元

刃長 637mm 反り 17mm 元巾 31.1mm 元重 5.3mm 鎗重 6.5mm 先幅 23.7mm 先重 3.5mm 先鎗重 4.0mm

鎗造り、庵棟、幅広、重ね薄く、平肉枯れ、反りこころ持ち浅い。彫、表は爪付きの素剣の上に鍬形、蓮台、梵字、二筋樋を重ね、裏は護摩箸の上に梵字と両子りの棒樋を重ねる。鍛は板目に杳交えて肌立ち、流れる。刃文は匂い口締まった互の目に尖り刃交え、所謂三本杉となり、棟を焼き、焼出しは匂いが煙り込み焼き落とし風となる。帽子は横手上に互の目を一つ置き、大きく弛んで先小丸、返り倒れこころ。茎生ぶ、先浅い剣形、茎棟角、鑢目鷹羽。

